



YOUTH

目標に向かってGO! 全国大会へ向かうレッズユース

第29回

日本クラブユース(U-18)
選手権大会出場記念特集

与野八王子グラウンドで練習に励む選手たち

レッズユースは7月29日(金)から始まる第29回日本クラブユース(U-18)選手権大会に出場する。同大会では、2002年から3年連続ベスト4以上に進んでいるレッズユースだが、優勝は97年の第21回大会のみ。関東予選やプリンスリーグ関東で粘り強さを身に付けてきた今季は、全国大会でも高いレベルの試合ができるチームになっているし、過去2回の大会に出場経験のある選手も多く、8年ぶりに栄冠を手にするチャンスでもある。また最大で9日間、寝食を共にすることで、新しい発見やチームワークが生まれることもある。目標は2つ、個人のスキルアップとチームの優勝。意気高くJヴィレッジ行きを待つレッズユースの選手たちを紹介する。

大会概要(抜粋)

グループリーグ

24チームを4チーム×6グループに分け、リーグ戦を行う。各グループ1位6チームと、各グループ2位チームの中から成績上位2チーム、計8チームが決勝トーナメントに進む。2位チームの中の成績上位2チームを決める際、得失点差、総得点はグループ4位チームとの対戦成績を削除する。

決勝トーナメント

優勝および準優勝チームは高円宮杯第16回全日本ユース(U-18)選手権大会の出場権を得る。3位決定戦は行わない(2チーム3位)。

グループ組み合わせ

- Aグループ 湘南ユース / FCみやぎ / F東京ユース / 磐田ユース
Bグループ 浦和ユース / 広島ユース / 愛媛FC / 千葉ユース
Cグループ 清水ユース / 札幌ユース / 大宮ユース / 神戸ユース
Dグループ 川崎ユース / G大阪ユース / GEN DS TONAMI / 仙台ユース
Eグループ 東京Vユース / 福岡ユース / 新潟ユース / 京都ユース
Fグループ 横浜Mユース / 名古屋ユース / 安芸FC / 三菱養和SC

大会スケジュール

7月29日(金) 代表者会議

・グループリーグ(レッズユースのみ記載)

7月30日(土) vs 愛媛FC (10:30)

7月31日(日) vs 千葉ユース(15:00)

8月1日(月) 休息日

8月2日(火) vs 広島ユース(13:00)

・決勝トーナメント

8月3日(水) 準々決勝(10:30 / 13:30)

8月4日(木) 休息日

8月5日(金) 準決勝(10:30 / 13:30)

8月6日(土) 決勝(13:30)

伸びてきた、粘り強さとたくましさ

監督・広瀬 治



これまでやってきたことに、大会前の練習で積み上げたものを加え、チームが一つになってつなぐサッカーをする中で、個々の特徴を生かせるような試合をして、まずは決勝トーナメント進出を目指します。

クラブユースの大会は試合が2日間ずつ連続ですし、期間中チームが同じ屋根の下で生活するという特色があります。また高校3年生は、今後の進路などにも関わってくるので、今まで以上の力を出してくれることを期待しています。

グループリーグは1位でないとは通過が難しいので、リーグ戦から緊張感を持ってやれるのは良いことだと思います。同じグループに、前回、前々回対戦して敗れた広島ユースが入っていますが、うちにとってはムードが引き締まって良かったです。ふだん通りの力を出せば、いい結果につながると思います。

またJクラブの下部組織でない愛媛FCがグループにいますが、試合前から相手のことを判断するのではなく、全力を出して終わるときに、今日の相手

がどうだったかを考えればよいことです。そうできればコンスタントに自分の力を出せません。今年の春からプリンスリーグやこの大会の関東予選を戦ってきて、粘り強さとたくまさが身に付いてきたと思いますが、最も成長したと思えるのは、レギュラー選手がいなかったり、暑くてコンディションが悪かったりしても、結果を出してきたことです。

大会では、レベルの高いチームと多く当たりたいですが、中でも関東大会で1位になった東京Vと、プリンスリーグでうちが負けた横浜Mとは対戦してみたいです。

レッズユースの良さを出して勝ち進む

キャプテンから

DF 堤 俊輔 Tsutsumi Shunsuke

177cm / 68kg / 3年(前登録チーム=レッズジュニアユース)

特長=堅実な守備とリーダーシップ



まずはグループリーグの2試合にしっかり勝って、3戦目の広島との対戦に備えようと仲間と話しています。もちろん広島にも絶対に勝つつもりです。全国大会ではどのチームとも接戦になるので、セットプレーには気をつけたいですし、逆にこちらはセットプレーでの得点を狙っていきます。

自分自身、この大会は3回目です。暑い中の試合ですが、これまでそういう日の試合も経験していますから大丈夫です。合宿になるので、その日の試合で良かった事、悪かった事をすぐに話し合えます。

キャプテンとして責任のあるプレーをして、チームを優勝に導きたいと思っています。レッズユースの良さを出して勝ち進んでいきたいと思っていますので、応援よろしくをお願いします。



(1) GK 山田 哲

Yamada Tetsu

190cm / 82kg / 2年
(さいたま市立木崎中)
守備範囲の広い大型 GK



(3) DF 野島康宏

Nojima Yasuhiro

185cm / 66kg / 3年
(レッズジュニアユース)
空中戦に強い大型 DF



(6) MF 渡部竜二

Watanabe Ryuji

170cm / 63kg / 3年
(レッズジュニアユース)
展開力ある守備的 MF



(8) MF 増田孝輔

Masuda Kousuke

167cm / 65kg / 3年
(三菱養和ジュニアユース)
正確なミドルシュート



(2) DF 小松靖和

Komatsu Yasukazu

171cm / 69kg / 3年
(草加ジュニア)
粘り強い守備が特長



(4) DF 小松裕志

Komatsu Yushi

169cm / 68kg / 3年
(レッズジュニアユース)
堅実な守備と攻撃参加



(7) MF 萩尾勇真

Hagio Yuma

175cm / 64kg / 3年
(ヴェルディユース)
FKのスペシャリスト



(9) FW 市川 雄太郎

Ichikawa Yutaro

175cm / 74kg / 3年
(幸手市立幸手西中)
スピードとパワーを備えた FW

全国大会出場までのあゆみ

厳しい状況でも負けない力をつけながら関東を勝ち抜いた

グループ 2 位以内を目指して



初戦の柏にはまず快勝だった (6.4)

レッズユースは関東予選 2 次リーグから出場。柏ユース、水戸ユース、川崎ユース、OSA (奥寺サッカーアカデミー) とともに B グループに入った。

予選 2 次リーグは 20 チームが 5 チーム × 4 グループに分かれて争う。関東からの全国出場枠は 9。各グループ上位 2 チーム、計 8 チームはその時点で

全国出場権を得、順位を決めるだけとなる。各グループ 3 位の 4 チームは、残り 1 枠をめくってトーナメント 2 試合に勝ち抜く必要がある。確実に全国行きの切符を手に入れるにはグループ 2 位以内に入らなければならない。

川崎に大敗で暗雲。最終節で逆転

序盤は順調だった。6 月 4 日、5 日、柏ユースと水戸ユースを大差で連破。B グループ 2 位以内は堅



第 3 戦で川崎に敗れた (6.12)



最終節の OSA 戦、萩尾が FK を直接決める (6.19)

いと思われた。

しかし、第 3 戦で川崎ユースに 1 - 4 の大敗。この時点でレッズは 3 位だった。最終戦でレッズが OSA に勝ち、柏が川崎に勝つと 3 チームが勝ち点 9 で並び得失点差の勝負になる。計算すると OSA に 6 点差をつけて勝てば、柏 - 川崎の勝敗および点差に関わらずレッズの 2 位以内は確定。それ以下なら 3 位の可能性があった。

6 月 19 日の OSA 戦は前半を 2 - 0 で折り返し、なおも追撃の手を緩めなかった。6 点目が入ってもまだ安全圏ではなく、7 - 0 にしてようやくイレブンに笑みがこぼれた。



(11)MF 西澤 代志也

Nishizawa Yoshiya

174cm / 64kg / 3年
(狭山ジュニア)
突破力あるウインガー



(13)MF 宇賀神 友弥

Ugajin Tomoya

170cm / 66kg / 3年
(レッズジュニアユース)
運動量豊富なMF



(15)DF 吉田周太

Yoshida Syuta

174cm / 67kg / 3年
(レッズジュニアユース)
ガッツあふれるプレーが身上



(17)FW 鈴木竜基

Suzuki Ryuki

175cm / 70kg / 2年
(レッズジュニアユース)
嗅覚の優れたストライカー



(12)FW 小池純輝

Koike Junki

178cm / 71kg / 3年
(坂戸ディプロマツ)
抜け出すスピードはピカー



(14)MF 山田純輝

Yamada Junki

167cm / 58kg / 3年
(レッズジュニアユース)
身体能力は抜群



(16)GK 大橋基史

Ohashi Motofumi

178cm / 73kg / 3年
(狭山ジュニア)
アグレッシブにゴールを守る



(18)MF 金生谷 仁

Kanaoya Jin

171cm / 70kg / 2年
(レッズジュニアユース)
闘志と運動量あふれるMF

劣勢から同点に。PK戦勝利で5位

グループ2位チームは、5位～8位決定戦に出場する。いずれも全国出場を決めた強豪ぞろい。レッズは初戦で三菱養和とSCを下し、5位決定戦でFC東京ユースと対戦。前半36分にペナルティエリア内のハンドで10人になる厳しい戦いになった。1-2で敗色濃厚な後半ロスタイム、CKから堤が同点ヘッド。PK戦に持ち込み、見事逆転勝利した。



F東京戦は、ロスタイムに堤のゴールで同点に追いついた(6.26)

関東大会の記録

予選2次リーグBグループ

- 6 / 4 4 - 1 柏
レッズ得点者 鈴木2、小池、市川
- 6 / 5 4 - 0 水戸
レッズ得点者 鈴木2、小池、市川
- 6 / 12 1 - 4 川崎
レッズ得点者 鈴木
- 6 / 19 7 - 0 OSA
レッズ得点者 小池4、萩尾3

5位～8位決定戦1回戦

- 6 / 25 6 - 2 三菱養和 SC
レッズ得点者 萩尾2、小池、市川、増田、田中

5位～8位決定戦2回戦

- 6 / 26 2 - 2 F東京
(PK5 - 4)
レッズ得点者 小池、堤

ジュニアユースも全国へ

第20回日本クラブユース(U-15)選手権

レッズジュニアユースもクラブユースの全国大会にコマを進めた。第20回日本クラブユース(U-15)選手権関東大会で、予選リーグを1位で勝ち抜いていたレッズジュニアユースは、7月9日から行われた決勝トーナメントで6位となり、上位9チームに与えられる全国大会出場権を獲得した。U-15大会は8月12日から21日まで、U-18大会と同じJヴィレッジで行われる。

なお7月21日に行われた抽選会で、レッズはCグループに入り、清水、福岡、G大阪のJクラブのジュニアユースチームとグループリーグを戦うことになった。U-15大会は、8グループの上位2チーム、計16チームが決勝トーナメントに進む。



関東大会予選リーグ・JACPA東京戦から(6.11)



(19)MF 佐藤謙介

Sato Kensuke
174cm / 60kg / 2年
(レッズジュニアユース)
戦術眼に優れたMF



(21)DF 森 慎太郎

Mori Shintaro
177cm / 69kg / 3年
(レッズジュニアユース)
正確なロングキック



(23)FW 村松勇太

Muramatsu Yuta
158cm / 55kg / 2年
(レッズジュニアユース)
縦に抜けるスピードが身上



(25)MF 田中宏育

Tanaka Kousuke
169cm / 59kg / 2年
(レッズジュニアユース)
スピードでゴールを目指す



(20)MF 蛸原弘貴

Ebihara Hiroki
181cm / 64kg / 2年
(福岡ジュニアユース)
スピードに乗ったドリブル



(22)GK 大谷幸輝

Otani Kouki
185cm / 85kg / 1年
(ランザ熊本)
身長を生かした守備



(24)MF 広瀬祐太

Hirose Yuta
165cm / 57kg / 2年
(さいたま市立東浦和中)
センスあふれるオールラウンダー



(26)MF 中山 透

Nakayama Toru
167cm / 60kg / 2年
(レッズジュニアユース)
長短のパスを使い分ける

がんばれレッズユース！～プロの先輩たちから

優勝して忘れられない 思い出作りを

千島 徹(24)MF

浦和スポーツクラブジュニアユース レッズユース
1997年・第21回大会で優勝(1年)
2000年、浦和レッズ加入



僕は1年のときにクラブユースで優勝しました。あの年の夏は休みが3日間くらいなくて辛かったです。後になって思えば、すごく楽しい夏休みでした。ここで優勝すれば、絶対に最高の夏休みになりますから頑張ってください。宿での生活も楽しかったです。今でも忘れられない思い出です。

どんな相手でもナメないで

加藤順大(20)GK

清水ジュニアユース 大宮FC レッズユース
2000年・第24回大会3位(1年)
2002年・第26回大会準優勝(3年)
2003年、浦和レッズ加入



1年のときに3位で、3年のときに準優勝でした。どんな相手でもナメないでやるのが一番大事だと思います。そうすれば勝っていけると思えます。暑いんで、パテないように水分補給をしっかりすること、合宿なので生活面もしっかりしてください。

簡単に勝たせてはくれないぞ

大山俊輔(19)MF

レッズジュニアユース レッズユース
2002年・第26回大会準優勝(1年)
2003年・第27回大会準優勝(2年)
2004年・第28回大会3位(3年)
2005年、浦和レッズ加入



ユースの選手にとって、クラブユース選手権というのは思い入れの強い大会だと思います。3年生のとき準優勝の広島戦に警告累積で出られなかったのが今でも悔しいです。初戦が大事なので、気を引き締めてやってほしいと思います。簡単に勝たせてくれるチームはありません。高3の選手にとっては、これが最後の大会になる人もいるでしょう。気合を入れて頑張ってください。